

環境調査結果のお知らせ

平成29年6月27日午前9時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温23~25℃、塩分28~35、溶存酸素量5~11mg/lでした。透明度は2~6mで、有害種のカレニア・ミキモトイ、ケラチウム属が確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温23.4~25.0℃、塩分27.7~34.7でした。前回調査時と比較して、水温は全層で2.0~2.7℃上昇しました。塩分は全層で0.3~1.3低下しました。

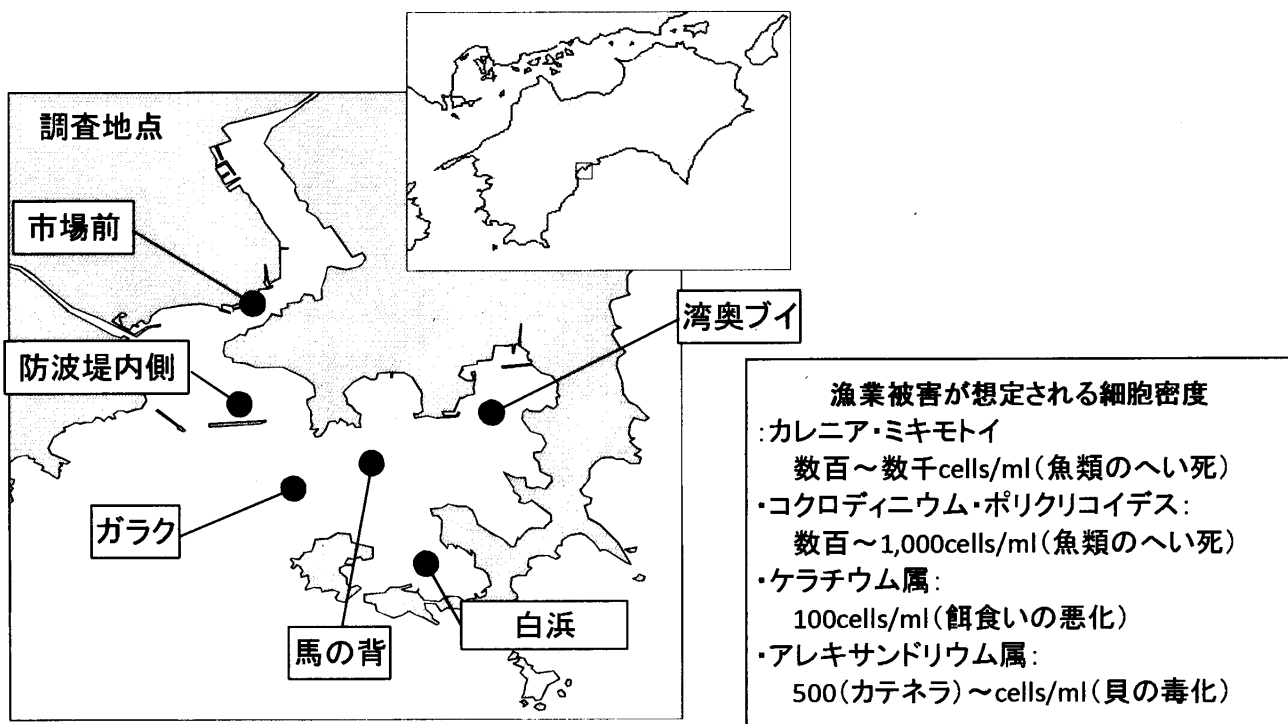
溶存酸素量(表3)

溶存酸素量5.3~10.7mg/lでした。前回調査時と比較して、溶存酸素量は2m層から底層で0.3~1.2mg/l減少しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は1.5~6.0mでした。検鏡の結果、魚類に有害なカレニア・ミキモトイが最高で12cells/ml、ケラチウム属が最高で40cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。



平成29年6月27日

表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H29.6.8)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	25.0	24.8	24.7	24.6	24.8	22.8	2.0	24.5
2m	25.0	24.8	24.7	24.8	24.8	22.7	2.1	24.7
5m	24.8	24.6	24.6	24.6	24.7	22.4	2.3	24.5
10m	24.1	24.3	24.6	24.3	24.3	21.7	2.6	24.2
B-1m	23.5	23.4	24.5	23.8	23.8	21.1	2.7	24.2

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H29.6.8)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	33.2	32.4	32.9	27.7	32.8	33.9	▲ 1.1	29.3
2m	33.2	32.8	33.1	32.8	33.0	34.3	▲ 1.3	32.2
5m	33.7	33.5	33.4	33.4	33.5	34.6	▲ 1.1	33.6
10m	34.5	34.4	33.8	34.4	34.2	34.7	▲ 0.5	34.3
B-1m	34.7	34.7	34.1	34.6	34.5	34.8	▲ 0.3	34.4

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H29.6.8)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	7.6	7.9	6.8	10.7	7.4	7.4	0.0	9.5
2m	7.5	7.4	6.7	8.3	7.2	7.5	▲ 0.3	8.2
5m	6.8	6.8	6.5	7.1	6.7	7.1	▲ 0.4	6.4
10m	5.3	5.5	6.5	6.0	5.7	6.8	▲ 1.1	5.8
B-1m	5.6	5.8	6.1	5.6	5.8	7.0	▲ 1.2	5.6

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	市場前
水深	17.5	24.2	14.9	16.7	12.3
透明度	3.0	5.0	6.0	1.5	1.5
前回(6/8)	4.2	3.5	4.5	2.5	1.5

表5 プラクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	コクロディニウ ム・ポリクリコイ デス	ケラチウム属	アレキサン ドリウム属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	8	0	7,200
	2m	4	0	40	0	5,500
	5m	8	0	32	0	4,500
馬の背	0m	1	0	0	0	10,100
	2m	1	0	0	0	6,250
	5m	0	0	2	0	3,600
ガラク	0m	3	0	0	0	5,700
	2m	1	0	0	0	5,700
	5m	2	0	0	0	4,200
津波防波 堤内側	0m	0	0	0	0	56,800
	2m	0	0	3	0	46,800
	5m	3	0	8	0	13,000
市場前	0m	1	0	0	0	37,500
	2m	5	0	1	0	27,700
	5m	2	0	4	0	9,000
白浜 透明度: 2.5m	0m	0	0	0	0	13400
	2m	1	0	0	0	7800
	5m	12	0	21	0	7000